

平成26年第1回定例会予算審査特別委員会全体会（文教委員会所管）会議録

平成26年3月13日
10時00分～12時05分
全員協議会室

出席者氏名

山形 金也	委員長	椎塚 俊裕	副委員長
大塚 弘史	委員	山宮留美子	委員
深沢 幸子	委員	後藤 光秀	委員
滝沢 健一	委員	坂本 隆司	委員
伊藤 悦子	委員	糸賀 淳	委員
横田 美博	委員	油原 信義	委員
大竹 昇	委員	後藤 敦志	委員
北澤 満	委員	寺田 寿夫	委員
鴻巣 義則	委員	近藤 博	委員
川北 嗣夫	委員	曾根 一吉	委員
桜井 昭洋	委員	大野誠一郎	委員

執行部説明者

市 長	中山 一生	副 市 長	長岡 一美
教 育 長	藤後 茂男	教 育 部 長	荒井久仁夫
学 務 課 長	足立 裕	青少年育成課長	黒田智恵子
スポーツ振興課長	岡田 和幸	指 導 課 長	黒澤 智
学校給食センター所長	大和田英嗣	中央図書館長	斎藤 英也
教育センター所長	小貫 孝浩		

事 務 局

局 長	佐藤 久雄	主 査	仲村 真一
副 主 査	中根 正世		

議 題

議案第38号 平成26年度龍ヶ崎市一般会計予算（文教委員会所管事項）

山形委員長

ただいまから予算審査特別委員会を再開いたします。

本日は、文教委員会の所管事項について説明と質疑を行います。本委員会の運営に当たりましては、前回申し上げましたとおりでございますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、執行部におかれましては、答弁は簡潔明瞭をお願いいたします。

また、本日の文教委員会所管事項の質疑につきましては、一般会計予算を一人 30 分の持ち時間の範囲で、通告順に沿って進めてまいりますので、発言に際しましては議員、執行部ともに挙手をされるようお願いいたします。

それでは、これから予算審査特別委員会の文教委員会所管事項の審査に入ります。

議案第 38 号 平成 26 年度龍ヶ崎市一般会計予算の文教委員会所管事項について議題といたします。

執行部から、項目に沿ってご説明願います。

荒井教育部長。

荒井教育部長

それでは、平成 26 年度予算案における教育委員会所管分について、その内容を説明させていただきます。

予算書のほうでは 16 ページ、17 ページからになります。

12 分担金及び負担金、負担金、民生費負担金、児童福祉費負担金、コードナンバー 0001 放課後児童健全育成事業負担金でございますが、これは保育ルーム利用に係る保護者負担金でございます。

次の 0002 放課後児童健全育成事業負担金滞納繰越分でございますが、過年度の保護者負担金滞納に係る収入でございます。

続きまして、3 教育負担金、小学校費負担金及び次の中学校負担金でございますが、これは日本スポーツ振興センター災害共済負担金でございます。小・中学校の管理下における児童・生徒の事故等に備え、災害共済保険に加入する場合の保護者負担金となっております。

続きまして、次のページ、18、19 ページをお開きください。

使用料及び手数料、使用料、8 教育使用料、1 小学校使用料の小学校施設目的外使用料及び中学校使用料、中学校施設目的外使用料でございますが、これは小・中学校施設内の東京電力と N T T 東日本の電柱使用料並びに小・中学校教職員の駐車場使用料収入でございます。

次に、節の 3 社会教育使用料の中央図書館施設目的外使用料は、中央図書館敷地内の東京電力の電柱使用料及び自動販売機の設置に係る使用料と電気使用料の収入でございます。

続きまして、節の 4 保健体育使用料でございます。コードナンバー 0001 総合運動公園施設目的外使用料でございますが、たつのこアリーナ、たつのこフィールド及びたつのこスタジアムに設置してございます自動販売機の設置に係る使用料及び電気料、たつのこアリーナの 1 階ホールに設置してあります指定情報モニターの運営に係る使用料収入でございます。

次の体育施設目的外使用料につきましては、高砂運動広場をはじめ、市内グラウンドに設置されております東京電力及び N T T 東日本の電柱使用料収入でございます。

次に、給食センター施設目的外使用料でございます。これは給食センター内に設置されております東京電力電柱に係る使用料収入でございます。

続きまして、飛びます。24 ページ、25 ページをお開きください。

国庫支出金、国庫補助金、教育費国庫補助金、小学校費補助金の要保護児童援助費、特別支援教育就学奨励費及び節の 2 になります、中学校費補助金の要保護生徒援助費、特別支援教育就学奨励費でございますが、これは要保護者及び特別支援学級に在籍する児童・

生徒の保護者への就学援助費に係る国庫補助金で、補助率は2分の1でございます。

次の学校施設環境改善交付金につきましては、城西中学校屋内運動場大規模改修工事に係る補助金でございます。補助率は3分の1でございます。

26 ページ、27 ページをお開きください。下になります。

県支出金、県補助金、民生費県補助金、児童福祉費補助金、コードナンバー0001 放課後児童健全育成事業費でございますが、これは放課後児童健全育成事業に対して茨城県から交付されます補助金でございます。補助率は3分の2でございます。

次に、31 ページをお開きください。

教育費県補助金、小学校費補助金及び節の2 中学校費補助金の被災児童就学支援等事業費及び被災生徒就学支援等事業費でございますが、これは東日本大震災により被災し、龍ヶ崎市に避難してきました小学生8人、中学生4人の保護者に給付する学用品費、校外活動費、給食費等に対しての茨城県からの補助でございます。10 分の 10 の補助率となっております。

続きまして、社会教育費補助金、事務処理特例交付金、生涯学習事務費分でございます。これは茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づく図書自動販売機の届け出廃止の事務処理及び立ち入り調査の事務処理に係る交付金でございます。

次の青少年相談員事業費でございますが、青少年の健全育成に協力する店への加入説明や加入店舗訪問指導に対する補助金でございます。補助金は1店舗当たり590円で、50店舗分を計上しております。

続きまして、県支出金、3の委託金、教育費委託金、教育総務費委託金の学びの広場サポートプラン事業費でございます。学びの広場サポーター52人の配置に係る県からの委託金で、10 分の 10 の補助率となっております。この学びの広場サポートプラン事業でございますが、茨城県教育委員会からの委託事業でございます。夏休み中の5日間、小学校4年生、5年生を対象に算数の四則計算等の知識・技能の定着を図るために実施する事業でございます。

続きまして、32 ページ、33 ページでございます。

財産収入、財産運用収入、利子及び配当金、利子及び配当金、コードナンバー0010 教育振興基金利子でございますが、龍ヶ崎市教育振興基金9,212万4,591円から生じる預金利子でございます。

次の義務教育施設整備基金利子につきましては、義務教育施設整備基金2億1,172万343円の預金利子でございます。

続きまして、16 財産収入、財産売払収入、物品売払収入、1 節の物品売払収入、コードナンバー0003 給食センター資源物等売払収入でございますが、給食調理の際に使用した食用油の売払収入でございます。

次に、18 繰入金、基金繰入金、基金繰入金、1 節の基金繰入金、コードナンバー0007 教育振興基金繰入金でございますが、平成26年度の奨学生援護事業分として180万円、スポーツ大会出場交付金及び激励金分といたしまして100万円の合計280万円を見込んでおり、その財源として基金から繰り入れるものでございます。なお、平成26年度の奨学生については15人を見込んでおります。

次の34 ページ、35 ページをお開きください。下のほうです。

諸収入、雑入、弁償金、節の弁償金、コードナンバー0001 図書館資料弁償金につきましては、紛失、破損等によりまして貸し出し図書が返却不可能となった場合の弁償金でございます。

次の36 ページ、37 ページをお開きください。

4 雑入、目4 雑入、2 給食費負担金、コードナンバー0002 学校給食費負担金につきましては、児童・生徒の保護者及び教職員等にご負担をいただく給食費でございます。給食費につきましては、本年4月から消費税率引き上げ分の改定を予定しております。平成25年12月に龍ヶ崎市学校給食センター運営委員会から学校給食費の改定につきまして答申

を受け、教育委員会におきまして、小学生が現行の月額 4,200 円から 4,320 円に、中学生と教職員等が現行の月額 4,600 円から 4,731 円に改定することを決定しましたことから、これを計上したものでございます。

次の学校給食費負担金滞納繰越分でございます。これは過年度分の給食費負担金の滞納繰越分でございます。

続きまして、雑入のコードナンバー0039 放課後児童健全育成事業保険料負担金につきましては、保育ルーム活動時における児童のけが等に対応するための傷害保険料の保護者負担分でございます。年額 1 人当たり 800 円でございます。

次に、38 ページ、39 ページをお開きください。

コードナンバー0052 公立小・中学校現場実習費につきましては、市内小・中学校で教育実習生を受け入れる場合の大学等からの実習費を受け入れるための科目設定でございます。

次の学校事故賠償保険金につきましては、児童・生徒等が学校管理下での活動中に事故などによりけがをした場合のその補償金である市民総合賠償補償保険金を受け入れるための科目設定でございます。

次の学校開放体育館使用料につきましては、市内小・中学校体育館の夜間開放時の施設使用料でございます。

次の子ども居場所づくり事業賠償保険金につきましては、たつのこやま管理棟で実施しております子どもの居場所づくり事業において、利用者のけが等が発生した際の市民総合賠償補償保険金の受け入れのための科目設定でございます。

コードナンバー0058 図書館コピー使用料につきましては、中央図書館に設置しております有料コピー機、1 枚 10 円の使用料でございます。

コードナンバー0061 たつのこアリーナ幼児一時預かり利用者負担金につきましては、たつのこアリーナ利用者のお子さんを幼児体育室で一時的に預かる際の負担金でございます。お子さん 1 人につき、1 時間当たり 300 円となっております。

続きまして、市債でございます。

教育費債、節 1 中学校債の中学校施設整備事業債でございますが、これにつきましては、城西中学校屋内運動場大規模改修工事に伴う財源に充当するもので、充当率は 75%でございます。

歳入の最後になりますが、節の 2 保健体育費の学校給食センター整備事業債借換分でございます。平成 16 年度に借りました学校給食センター整備事業時の市債の借りかえでございます。

以上が歳入についてでございます。

続きまして、歳出について説明させていただきます。

80 ページ、81 ページをお開きください。

3 の民生費、児童福祉費、児童福祉総務費、コードナンバー、下 5 ケタ 13300 放課後児童健全育成事業につきましては、保育ルーム運営に係る経費でございます。保育ルームは、平成 26 年度から全ての保育ルームで小学 6 年生までの受け入れをする予定で、準備を進めております。主な経費でございますが、保育ルームにおける放課後児童指導嘱託員に対する報酬、馴染小学校保育ルーム、城ノ内小学校保育ルームのプレハブ賃借料でございます。なお、城ノ内小学校の保育ルームにつきましては、平成 26 年度からプレハブを 1 部屋増設しまして、合計 3 部屋で運営する予定でございます。

続きまして、飛びます。124、125 ページをお開き願います。

教育費、教育総務費、教育委員会費、コードナンバー25900 教育委員会費につきましては、教育委員会運営に係る経費でございます。主なものですが、報酬につきましては、教育長を除きます教育委員 4 名に対する報酬。負担金につきましては、茨城県市町村教育委員会連合会の年間負担金でございます。

続きまして、目の 2 事務局費のコードナンバー26000 教育長給与費、教育長の給与等でございます。

続きまして、コードナンバー26100 職員給与費、教育委員会事務局費につきましては、部長1人、学務課管理職2人、学務グループ8人、指導課1人の合計12人分の給与等でございます。

次のコードナンバー26200 学務事務費についてでございますが、報酬につきましては、龍ヶ崎市学区審議会委員及び学務課窓口業務専門嘱託員の報酬でございます。報償費でございますが、教育委員会の事務に関する点検・評価に係る有識者等への謝礼でございます。役務費でございますが、就学时健康診断、就学通知に必要な切手等の通信運搬費、学校用務員の保菌検査に係る手数料、学校管理下における事故等に対応するための賠償補償保険の保険料等を計上しております。補償・補填及び賠償金につきましては、賠償金や補償金が生じた場合の科目設定でございます。

次の奨学生援護事業でございます。これにつきましては、市内在住の高校生で、学力優秀でありながら経済的な理由などで進学、就学することが困難な方に対し、1人当たり月額1万円の奨学金を支給するものでございます。15人分を計上しております。

次の教育振興基金費につきましては、教育振興基金から生じる預金利子を積み立てるための科目設定でございます。

次の義務教育施設整備基金費につきましては、義務教育施設整備基金から生じる預金利子を積み立てるための科目でございます。

次の26500 教育の日推進事業につきましては、11月5日の龍ヶ崎教育の日及び11月の龍ヶ崎教育月間を中心に、学校、家庭、地域が連携を図りながら、中中連携たつのこサミットや家族へのメッセージなど、様々な取り組みを行うための経費でございます。

続きまして、目の3 教育指導費でございます。コードナンバー26600 職員給与費、教育指導につきましては、茨城県教育委員会から当市へ派遣されております指導主事4人分の給与等でございます。

次の126、127 ページをお開き願います。

コードナンバー26700 学校指導費につきましては、学校教育の助言・指導等に係る経費でございます。主なものは需用費でございます。教育関係図書等の購入経費を計上してございます。

次のコードナンバー26800 教職員研修費につきましては、負担金及び交付金で、加盟しております茨城県学校長会、同じく教頭会の負担金のほか、校長、教頭、教務主任等が共同で龍ヶ崎市の教育充実を目指し、学校経営や教育課程に関する研究発表を行います学校経営研究事業と市内学校の教科指導の指導・助言を行います教科指導員の研修事業にかかわる経費を計上しております。

次の障害児就学指導費につきましては、障害児就学支援等に係る経費でございます。主なものは、障害児就学支援にかかわる支援員23人分に係る委託料でございます。

続きまして、コードナンバー27000 語学指導事業につきましては、英語指導授業助手6人分の委託料が主なものでございます。

次の子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業につきましては、児童・生徒の生きる力の育成のために各学校で特色ある教育活動を実施するための経費でございます。

次の特色ある学校づくり事業につきましては、夢や希望を持って将来の生き方を考えられる児童・生徒を育成するため、各界で活躍している著名人を講師として招いたり、地域の特性を生かした体験活動を実施するための経費でございます。

次の学習充実支援事業につきましては、児童の個人差に応じきめ細やかな指導を行うために、小学校で少人数指導やチームティーチング指導を行う学習充実指導非常勤講師18人と学びの広場サポーター52人の配置に係る経費でございます。

続きまして、目の4 教育センター費、コードナンバー27500 職員給与費、教育センターにつきましては、教育センター職員1人分の給与等でございます。

次に、教育センター管理費でございます。主なものとしたしましては、報酬は用務嘱託員1人分、委託料につきましては、教育センター分の清掃業務委託料でございます。

次に、教育センター活動費でございます。主なものは報酬です。教育相談員 8 人と学校教育相談員 1 人分の報酬でございます。

次に、128 ページ、129 ページをお開きください。

コードナンバー27900 さわやか相談員派遣事業でございます。主なものは報償費で、中学校におけるさわやか相談員 6 名及び小学校におけるさわやかボランティア相談員 20 名分の謝礼でございます。

続きまして、教育費、小学校費、学校管理費、コードナンバー28000 職員給与費、小学校につきましては、小学校の用務手 11 人分の給与等でございます。

次の 28100 小学校管理費につきましては、小学校 13 校の施設や設備の保守、修繕及び備品等の購入を行うもので、児童の学校における生活環境の充実を図るための経費でございます。

主なものでございますが、報酬は、小学校の学校医 19 名、学校歯科医 19 名、学校薬剤師 13 名、用務嘱託員 2 名の報酬でございます。

需用費は、カーテンなどの消耗品や電気、ガス、水道代などの光熱水費、コンピューターや窓ガラスなどの修繕料が主なものでございます。

役務費でございますが、学校の電話料、切手代等の通信運搬費。手数料といたしまして、飲料水及びプールの水質検査、児童の各種健康検査などの経費でございます。

委託料につきましては、校舎の機械設備や浄化槽の保守点検など、学校施設の維持管理に必要な経費でございます。

使用料及び賃借料でございます。教育用コンピューターや八原小学校及び城ノ内小学校の仮設校舎のリース代が主なものでございます。

負担金補助及び交付金でございますが、主なものとしましては、日本スポーツ振興センター災害共済金でございまして、学校管理下の児童のけが等に給付される災害共済加入掛け金でございます。

次の 130、131 ページをお開きください。

教育振興費、コードナンバー28200 小学校教育振興費につきましては、小学校における教材等の購入に係る経費でございます。主なものは、需用費で、学習用副読本等教材の購入、学校図書館の図書購入費用などとなっております。

続きまして、小学校読書活動推進事業でございます。これは学校図書館司書嘱託員 13 名分の報酬等を計上しております。

次に、要保護、準要保護児童就学奨励費でございます。この事業は、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対しまして必要な援助を行い、児童の円滑な就学に寄与するものでございます。学用品費、校外活動費、給食費等を計上しております。

次は、被災児童就学援助事業でございます。この事業は、東日本大震災により被災し、龍ヶ崎市に避難してきました児童の保護者に対しまして、学用品費、校外活動費、給食費等を給付するものです。8 人分を計上しております。

続きまして、目の 3 学校施設整備費、コードナンバー28400 の職員給与費につきましては、学務課で小学校施設を担当する 2 人分の給与等でございます。

次の都市再生機構小学校償還金でございます。龍ヶ崎ニュータウン内に建設しました小学校につきましては、都市再生機構の建てかえ施工により建設したものでございます。建設時に交わしました契約に基づき、都市再生機構に対し償還をしております。長山小、久保台小、八原小、城ノ内小学校の 4 校分を計上しております。

次は、小学校施設整備事業でございます。この事業は学校施設の整備改修等を図り、充実した学習環境づくりに努めるため、施設の整備を行うものでございます。15 工事請負費につきましては、大宮小学校木造校舎の外壁塗装に係る工事と龍ヶ崎小学校のオープンスペース床張りかえ工事費を計上しております。

続きまして、10 教育費、中学校費、学校管理費、コードナンバー28700 職員給与費、中学校につきましては、中学校の用務手 5 人分の給与等でございます。

次の中学校管理費につきましては、小学校と同様でございますが、生徒が日頃の部活動の成果により参加出場する県大会、県南大会を運営する経費を 19 の負担金補助金、次のページになりますけれども、負担金補助金及び交付金の負担金として計上しているところ

です。
132 ページ、133 ページでございます。

教育振興費、コードナンバー28900 中学校教育振興費につきましても、小学校と同様でございますが、補助金につきましては、中学校部活動の大会等出場に係る補助金を計上しております。

続きまして、中学校読書活動推進事業でございます。これにつきましては、学校図書館司書嘱託員 6 名分の報酬等が主なものでございます。

次に、要保護、準要保護生徒就学奨励費でございますが、内容につきましては小学校と同様でございます。

次に、被災生徒就学援助事業でございます。内容につきましては小学校と同様でございます。4 名分を計上しております。

次に、学校施設整備費、コードナンバー29100 職員給与費、中学校施設整備につきましても、学務課で中学校施設を担当しております 2 人分の給与等でございます。

次は、都市再生機構中学校償還金でございます。龍ヶ崎ニュータウン内に建設しました中学校でございますが、先ほどの説明と同じように、都市再生機構の建てかえ施工により建設したものでございます。建設時に交わしました契約に基づき、都市再生機構に対し償還をしております。長山中学校、中根台中、城ノ内中学校の 3 校分を計上しております。

次に、中学校施設整備事業でございます。この事業は、学校施設の整備改修等を図り、充実した学習環境づくりに努めるため、施設の整備を図っていくものでございます。

委託料でございます。城南中学校グラウンド改修工事に係る実績費でございます。

工事請負費の主なものといたしましては、城南中学校グラウンド改修工事、城西中学校屋内運動場大規模改修工事のほか 5 件の工事を予定しております。

備品購入費でございますが、城西中学校校舎大規模改修工事で整備しました多目的室におきまして、家庭科室と兼用しながら学年集会や会議等にも活用できるようテーブルや椅子などを購入するものでございます。

続きまして、次の 134、135 ページをお開きください。

教育費、社会教育費、社会教育総務費でございます。コードナンバー29600 職員給与費、社会教育総務費につきましては、青少年育成課職員 6 名分の給与等でございます。

次の生涯学習事務費につきましては、生涯学習を推進する上での一般事務経費と生涯学習関連団体等への負担金、そして成人式に係る運営委員会への交付金でございます。

次に、生涯学習推進費につきましては、親子ふれあい教室の講師謝礼が主なものとなっております。

次に、青少年育成事業につきましては、青少年非行の未然防止のため、継続的な街頭指導や啓発活動を行うとともに、青少年育成団体の活動を支援し、次代を担う青少年の健全育成を図るための経費でございます。主なものは、青少年相談員等に対する報酬、青少年関連団体に対します負担金及び交付金、市子ども会育成連合会等への事業交付金でございます。

次の 136 ページ、137 ページをお開きください。

コードナンバー30000 子育て学習事業でございますが、これは家庭教育及び子育て不安解消などを目的に行う事業でございます。主なものは、家庭教育指導員 2 名分の報酬、そして子育てふれあいセミナー講師等への謝礼などの経費でございます。

次の子どもの居場所づくり事業につきましては、龍ヶ岡公園管理棟を活用した子ども居場所づくりの運営経費でございます。平成 26 年度は、従来の土日の子どもの居場所の運営に加えまして、遊びの指導を行うプレイリーダーを養成し、毎月 1 回程度、外遊びなどを実施していきたいと考えており、そのプレイリーダー養成のための講師謝礼、プレイリ

ーダーに対する謝礼、プレハブ倉庫などの備品等を計上しております。

続きまして、目の3図書館費、コードナンバー30800 職員給与費、図書館につきましては、図書館職員7人分の給与等でございます。

次の30900 図書館管理運営費でございます。図書館の管理運営に係る経費でございます。主なものとしましては、図書館協議会委員13人、司書嘱託員14人の報酬。

需用費におきましては図書を購入費。

委託料につきましては中央図書館を維持管理していくための各種保守点検や清掃費用、警備に係る経費。

そして、使用料及び賃借料につきましては、図書館システムのリース料など、その運用経費を計上しております。

次は、子ども読書活動推進事業でございます。主なものとしましては、ブックスタート事業で、対象の乳児に配布いたします絵本の購入費でございます。また、今定例審議会に議案として上程いたしました龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例に定めております委員報酬を計上しております。

続きまして、教育費、保健体育費、保健体育総務費でございます。コードナンバー31300 職員給与費、保健体育総務費につきましては、スポーツ振興課、今度名前が変わりますけれども、スポーツ推進課職員16人分の給与等でございます。

次の社会体育事務費につきましては、誰もが健康で楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目標にニュースポーツの普及を図るため、スポーツ推進委員等を通じて教室や大会を開催するための経費でございます。

スポーツ推進委員、スポーツ推進計画審議会委員の報酬のほか、需用費で、スポーツ推進計画の見直しに伴う計画書作成費として印刷製本の経費を計上しております。

負担金につきましては、県及び県南スポーツ推進協議会の年会費及び研修負担金でございます。

次のページでございます。140、141ページをお開きください。

コードナンバー31500 体育振興活動費につきましては、体育協会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会等が主催いたします各種スポーツ大会、教室、講習会等を開催する経費でございます。

報償費につきましては、卓球タイムサポーターへの謝礼やスポーツ大会の賞品及び全国大会等出場者への激励金でございます。

負担金補助及び交付金でございますが、全国大会などへの出場者への補助金、各種スポーツ大会、教室、講習会の開催事業、スポーツ指導者派遣事業などに対する交付金でございます。

続きまして、体育施設費、総合運動公園等管理運営費でございます。主なものとしましては、報酬でございますが、たつのこアリーナの幼児の一時預かり業務嘱託員の報酬でございます。

需用費では、柔道畳の購入費などの消耗品などが主なものとなっております。

委託料につきましては、総合体育館ほか13施設等の管理運営などに係る経費として、指定管理者に対する指定管理料を計上しております。

使用料及び賃借料につきましては、複写機と券売機のリース料を計上いたしております。

工事請負費につきましては、たつのこアリーナの真空式温水ヒーター改修工事、同じく空冷ヒートポンプチラー改修工事及びたつのこスタジアム判定表示等改修工事に係る経費を計上しております。

備品購入費でございますが、サブアリーナの公認卓球台4台の購入及び高砂体育館の卓球台6台の購入等を行う経費となっております。

負担金補助及び交付金につきましては、スポーツ施設予約システムの運用経費でございます。

続きまして、学校給食費、コードナンバー32000 職員給与費、学校給食センターにつき

ましては、学校給食センター職員 5 人分の給与等でございます。

次の学校給食運営費でございます。主なものといたしましては、需用費の給食調理業務にかかわる消耗品、光熱水費、修繕料、賄材料などでございます。

委託料でございます。これは第一調理場及び第二調理場の調理業務及び配送業務の委託料のほか、調理場を維持管理していくための各種保守点検費用、清掃、警備等の委託料でございます。

次の 142 ページ、143 ページをお開きください。

使用料及び賃借料でございますが、第一、第二調理場の生ごみ処理機の賃借料でございます。

備品購入費でございますが、第一調理場のライスボイラー 2 台と第二調理場の焼き物の更新、そして運搬車 2 台の購入を予定しております。

歳出につきましては以上でございます。

以上で説明を終わります。

山形委員長

これから議案に対する質疑を行います。

通告順に発言を許可いたします。

深沢幸子委員。

深沢委員

では、よろしくお願いいいたします。

最初に、125 ページ。

26500 教育の日推進事業です。

今年度の教育の日は 11 月に教育月間、11 月 5 日の教育の日ということで今お話がありました。今年度の計画を教えてください。

足立学務課長

来年度の計画でよろしいでしょうか。

計画なんです、毎年学務課を中心とした教育委員会内の各課の職員、そして学校や幼稚園の先生、PTA 役員、子ども会、民生委員の方々などと企画実行委員会を組織して決めております。来年度もそのような形で決めたいと思っておるんですが、来年は平成 21 年に 11 月 5 日教育の日を宣言いたしまして 6 年目になります。5 年前、愛宕中学校を皮切りに毎年、中中連携の事業、たつのこサミットをやっているんですが、愛宕中学校で開催し、今年で 5 年目、城西中で開催したんですが、来年度は 6 年目ということで、城ノ内中学校がまだ残っていますので、その城ノ内中学校で開催いたしますたつのこサミットの一般公開を中心として考えていきたいなと、今のところ予定しております。

以上でございます。

深沢委員

ありがとうございます。

中中連携、いつも楽しみに見させていただいているんですが、子どもたちの素直な意見がいっぱい出てきて、いい授業じゃないかなと思ってるんですね。やっぱり多くの保護者の方や皆さんに集まっていただくのに、どういうふうにされるのか考えていらっしゃいますでしょうか。

足立学務課長

以前から周知の方法はいろいろ工夫しておりまして、ポスターや広報紙、ホームページはもちろんです。それと、横断幕やのぼり旗、あとは公用車へマグネットシールを張った

りしております。

特に今年度は、新たに市民課の窓口の上に情報モニターがあるんですが、そこでPRいたしました。それと、コミュニティーバスにもモニターがございます。そこでもPRを重ねていろんな工夫をしてくしております。

以上です。

深沢委員

ありがとうございます。

なかなか周知というのは難しいかなと思うんですけども、多くの方に見ていただいて、子どもたちの考えていることを伝えられればと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次にいきます。127 ページです。

127 ページの 26900 障害児就学指導費のところ です。

委託料の特別支援教育支援のところ で、教職員の発達障害に関する専門性の向上に向けての取り組みとどのように話し合われているか教えてください。

黒澤指導課長

発達障害に対する教職員の専門性向上に関する取り組みでございますが、平成 25 年度、今年度の研修会でございますけれども、特別支援教育のやはり一層の推進を図るために県内の全校の教務主任を対象に、発達障害に関する支援研修会を実施いたしました。研修の内容につきましては、講演、そして実践発表を代表者が研修を受け、その研修を受けた内容を各校に持ち帰って伝達講習会を全校で実施したところでございます。

深沢委員

各校に持ち帰って全員にやったっていうのは、教職員全員という意味でしょうか。

黒澤指導課長

在籍する教職員全員に実施しました。

深沢委員

ありがとうございます。

発達障害は先生もご存じのように、いろんなものがありますので、一気にはわからない部分もたくさんあるんじゃないかなと思うんですね。これからもぜひ、いろんな講習を受けていただいて、また新たにいろんなものが出てきますので、情報をいろんなところからとっていただいてやっていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

次、127 ページです。

27000 語学指導事業、13 の委託料、英語指導です。

今、英語は外国語活動ということになっていますが、2020 年には 5、6 年生の教科に格上げしようかなんていう話も出ているようですね。それでまた、小学校 5 年生から小学校 3 年生なんていうお話も出ております。なかなか英語というのは私たちもなじみが少ないものですから、先生方の英語力の向上のためにどのようなことをされるのかお聞かせください。

黒澤指導課長

外国語活動の研修会について答えさせていただきますが、市では小学校外国語活動研修会を毎年実施しております。AETにも参加いただいて、教員が実際に英語でのコミュニケーションを通して、英語力、そして表現力の向上に努めているところでございます。

深沢委員

英語等の外国語というのは、耳で聞くということがすごくいいということによく言われていますが、発音力の向上のためにはどのようなことをされますか。

黒澤指導課長

今の研修に加えまして、来年度は今、中学校で活用しています発音力アップソフトを教員の研修の際に用いて、そういう英語力を向上させたいなというふうに考えているところでございます。

深沢委員

ありがとうございます。

もともと英語のほうを専門にやっていた先生とまた英語には縁のなかった先生もいらっしゃると思うんですね。やっぱり先生によって指導力というのは申しわけないけれども違ってきちゃうのかなと思うんです。小・中学校の英語の指導力の向上のためにやられることというのは何かありますか。

黒澤指導課長

指導力向上についてでございますが、本市では英語教育のスーパーバイザーを1名配置、また市外の教職員の中で英語教育にすぐれた協会指導員を配置しまして、その方々に授業参観をしていただき、その後の研究、協議等を通して具体的な指導、助言をいただいております。

深沢委員

ありがとうございます。またぜひ進めていただきたいと思います。

次にいきます。同じ127ページの27300学習充実支援事業のところなんですが、学習充実ということで、科学の甲子園、ジュニア茨城大会がありますよね。そのことについてちょっとお話を聞かせてください。

黒澤指導課長

この科学の甲子園につきましては、今年度より行われた事業でございますが、県内の中学校1、2年生の希望者を対象に実施されたものでございます。

本市では、7月に市の予選大会を実施しまして、理科や数学に関する筆記の問題をやりました。その参加した生徒、上位6名を選抜して、たつこのサイエンスジムということで県に成績を報告しました。県大会に出場は15チームということだったんですが、残念ながら16番目ということで県大会出場はなりません。

次年度はより多くの参加を呼びかけまして、本事業を通して科学好きな子どもたち、生徒を育てていきたいなというふうに振り返っているところでございます。

深沢委員

ありがとうございます。

とても大事な理科、また科学というものだと思いますので、15チームで16番目というのは本当に惜しかったななんて思うんですけれども、26年度はぜひ大会に出られますようによろしくお願ひしたいと思います。

次に、131ページです。

131ページの28600小学校施設整備事業の工事請負費、大宮小学校木造校舎外壁塗装工事と龍ヶ崎小学校オープンスペース床張りかえ工事の内容とそれから期間と安全性について教えてください。

足立学務課長

まず、大宮小学校木造校舎外壁塗装工事の内容でございます。

大宮小学校は、校舎全体を4期に分けて建築しております。その4分の1、木造校舎であります。その木造校舎の主要部分であります柱やはり、主要構造物のベランダや、また屋根の軒裏などを塗装する工事でございます。木造ですと定期的に塗装してまいりたいと考えております。

龍ヶ崎小学校の床張りかえ工事につきましては、龍ヶ崎小学校は3階建ての校舎なんです。各階ともにオープンスペースが教室とは違う部分に附属されております。大体教室と同じ面積、60平方メートルなんです。1階、2階、3階のカーペット、耐震工事の際に取りかえて、もう平成14年に取りかえたもので劣化が激しいことから、それを塩化ビニールシートに張りかえるものでございます。180平方メートルです。

期間につきましては、両工事とも夏休みを予定しております。安全性につきましては、もちろん安全は万全を期しておりますが、基本的に児童と工事が一緒の空間にということ、夏休みでありますのでないと感じております。

以上でございます。

深沢委員

ありがとうございます。

夏休みなので、登校日とかそういうところにはぶつからないようにするという事ですね。

足立学務課長

登校日にはぶつからないようにしたいんですが、どうしてもぶつかる時には仮がけを設けて、別な区域、一緒の空間にはならないような工夫をしましてまいりたいと考えております。

深沢委員

ありがとうございます。ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

次にいきます。133ページ、29300中学校施設整備事業の13の委託料、城南中学校グラウンド改修工事実施設計、これのイメージと、その下の15番の工事請負費、そのイメージ設計というのはどういうイメージにしていこうかと考えていらっしゃるのかということ、その下の工事のほうは7つありますよね。グラウンドとか運動場とか、その7つの工事の期間、内容、それから安全性確保について教えてください。

足立学務課長

城南中学校なんです。このグラウンド改修工事は水はけの改良です。平成18年度に、主に授業で使う1万2,000平方メートルのうちの7,000平方メートルを暗渠を入れて改良をしております。残りの部分、5,000平方メートルを2期工事として暗渠を布設しまして、表土部を取りかえて施工するものでございます。水はけの改良工事でございます。

そして、その上の委託なんです。その実施設計の委託工事でございます。

あとそれと、続きまして、工事順にご説明してまいります。

城西中学校の屋内運動場大規模改修工事なんです。この本体工事、体育館と武道場につきましては、補正予算、3月今回の今議会でご審議いただいております1億4,900万を計上しております。この金額につきましては、新年度予定しておりますのは、昨年8月に文科省より、文科省の基準に基づきまして200平方メートル以上の吊り天井は全部撤去しなさいということがありました。200平方メートル以上ということと体育館はもちろん入ります。ということで、城西中学校の体育館の天井を撤去いたします。撤去いたしますと、波の形をした屋根なんです。城西中は、むき出しになってしまいます。その屋根の裏に断熱材、

4ミリほどのものを張りつけた製品なのですが、密閉された空間でなく露出してしましますので、その断熱材を念のために検査しましたところ、石綿、アスベストには何種類もあるんですが、その中でクリソタイルというものが微量ながら混入されておりましたので、この大規模改修、天井撤去の工事と同じ時期に除去するものでございます。その工事がこの新年度予算に計上されております。

続きまして、長山中学校の屋内運動場LED照明工事、こちらはふるさと戦略プランでも掲載されておるんですが、学校だけではなく公共施設のLED化を進めるということで記載されております。その一環で長山中学校、なぜ公共施設が数ある中で長山中学校かと申し上げますと、夜間解放されて使用頻度も高いこと、それと水銀灯を使っております。非常に電力を食います。LEDに切りかえることによって省エネ効果がすごく大きいこと、それと長寿命であること、体育館は電球交換をするたびに足場を組むしかないんですが、全部で16灯あるんですが、それを今回取りかえることによって、取りかえる経費も経済的だということで長山中学校を選択いたしました。校舎としても長山中学校は古い校舎で、劣化も進んでおりました。

続きまして、城ノ内中学校理科実験台増設工事なのですが、来年、城ノ内中学校は1年生7クラス、2年生6クラス、3年生6クラスを予定しております、多数のクラスがありまして、1学年で、学校の中で理科の授業を複数のクラスで行う際に実験台が足りませんでした。そのために理科室に、スペースに余裕がありましたので実験台を2台増設するものでございます。この金額なのですが、2台増設するだけではなく、もちろん実験台の金額と配管も全て地下のほうからやり直すものでございますので、この金額になっております。

それと、城南中学校のコンピューター室床張りかえ工事、こちらカーペットタイルになっているんですが劣化が激しいことから、またほこりとかが舞うことから、これは塩化ビニールシートへ切りかえるものでございます。274平方メートルです。

続きまして、城ノ内中学校オープンスペース床張りかえ工事、こちらは先ほどご説明した龍ヶ崎小学校と全く同じ理由でございます。1階、2階、3階のオープンスペースの床を張りかえる工事でございます。309平米でございます。

続きまして、愛宕中学校の音楽室床張りかえ工事、基本的にはオープンスペースと同じような理由で、こちらカーペット張りだったのですが、劣化が激しく傷も激しいということで塩化ビニールシートへ張りかえるものでございます。190平方メートルでございます。

期間につきましては、城南中学校グラウンド工事、城西中学校の体育館の大規模工事以外は全て夏休み期間を予定しております。

安全管理につきましては、先ほど申し上げましたように、夏休み期間中は多いんですが、そのほかににつきましては仮がけを設けて生徒と工事区間を別空間にして、また学校、業者、担当者と情報共有を密にして、安全には万全を期してまいりたいと考えております。

以上でございます。

深沢委員

ありがとうございます。

今、アスベストなんか出てきたのでちょっとびっくりしちゃったんですけども、安全に、子どもたちが過ごしやすい場づくりによろしくお願ひしたいと思ひます。

次にいきます。

141 ページ、31500 体育館振興活動費の中のスポーツ指導者育成事業なのですが、どのようなスポーツの指導者を育成されているのでしょうか。

岡田スポーツ振興課長

スポーツ指導者育成事業の中には、技術講習会とそれから技術者講習会と2つがありま

す。そしてまず、技術講習会につきましては、各体育協会におきまして、各種スポーツの著名人を呼んで技術のレベルアップを図ろうとするものであります。ちなみに今年度は、サッカー連盟が3月9日の日、流通経済大学サッカー部を招いて講習会を実施しております。市内及び近隣、利根町、河内町の小学4年生、5年生が約110名参加をいたしまして、大好評であったと聞いております。

次に、技術者講習会につきましては、体育協会に所属する団体、もしくは会員でスポーツ活動の振興に対し顕著な功績を収めた者並びに当該年の全国大会、関東大会において優秀な成績を収めた小・中・高校生を表彰し、その後、著名人を呼んで指導者の育成を行っているものであります。ちなみに今年度におきましては、私と同級生の竜ヶ崎一高時代、茨城県の高校野球選手権大会において、54イニング無失点記録保持者であります関口一行氏の講演をいただきました。現在は住友金属株式会社から鹿島アントラーズの総務部長をしております。出席者は各スポーツ団体の指導者50人ほどでありました。

以上であります。

深沢委員

ありがとうございます。

その下のところのスポーツ指導者派遣事業というのはどこに、どのような方を何人ぐらい派遣するのでしょうか。

岡田スポーツ振興課長

スポーツ指導者派遣事業についてであります。

体育協会が認めた各種指導者を登録して、各市内中学校の運動部活動に指導者を派遣するものであります。現在、指導者バンクには27名の登録がありまして、学校側の希望に対し、城西中学校の卓球部、中根台中学校の卓球部と陸上部、城ノ内中学校の柔道部と弓道部へと5名の指導者を派遣しております。各指導者とも、月に3回から5回の割りで指導に当たっている状況であります。

以上です。

深沢委員

ありがとうございました。

では次にいきます。

同じように141ページの31950総合運動公園等管理運営費のところの工事請負費です。たつのこアリーナ真空式温水ヒーター改修工事、たつのこスタジアム判定表示等改修工事、たつのこアリーナ空冷ヒートポンプチラー改修工事、それぞれの内容と工事期間及び安全性の確保についてお聞かせください。

岡田スポーツ振興課長

まず、たつのこアリーナ真空式温水ヒーター改修工事についてであります。

アリーナも12年が経過をすることから、各部品等が傷み、随時交換はしているものの、中期事業計画に提案していた年度ということで、今回、真空式温水ヒーターの熱交換器及びガスバーナーの交換をするものであります。工事期間につきましては5日間程度で、プールの水の交換時期、6月及び11月の施設点検日に実施をいたします。お客様には迷惑はかかりません。また、安全管理につきましても、地下のボイラー室にありますので問題はないものと考えております。

次に、たつのこアリーナ空冷ヒートポンプチラー改修工事についてであります。

こちらは、プール用の水側熱交換4系統を改修するものであります。工事期間につきましては5日間程度で、屋上に設置をされているものの交換となりますので、お客様には迷惑はかかりません。また、安全管理につきましても、落下防止を十分に注意させ、監督を

させていきたいと考えております。

次に、たつのこスタジアムの判定表示改修工事についてであります。

スタジアムスコアボードのストライク、ボール、アウト表示をアメリカ大リーグ方式、BSO表示に改修をするものであります。工事期間につきましては40日ほどかかりますので、1月か2月の休場日期間に工事を実施したいと考えております。また、安全管理につきましても、問題はないものと考えております。

以上であります。

深沢委員

ありがとうございました。

皆さんが使いやすいようによくお願いしたいと思います。

以上で終わります。

山形委員長

後藤光秀委員。

後藤（光）委員

127ページの子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業についてお伺いいたします。

これは先ほどご説明の中で、各学校で特色ある内容を実施しているということだったんですけれども、昨年もお聞かせいただいたと思うんですが、長山中でしたか、稀勢の里資料室などを実施しているというふうなことを聞いたと思うんですけれども、この事業の現在の具体的な内容としてどんなものが各学校で行われているのか、お聞かせいただければなと思います。

黒澤指導課長

本事業は、児童・生徒の生きる力を育成するために取り組んでいる事業ですが、各校では確かな学力に重きを置いたり、あるいは地域や流経大との連携の事業に力を入れたりということで、学校独自のそれぞれ活動を行って、本年度のものについては、まもなく報告書を上げていただく予定になっているところであります。

後藤（光）委員

あと、昨年度より若干15万ちょっと増額となっておりますけれども、この詳細をお聞かせください。

黒澤指導課長

この増額の理由につきましては、指導課のほうでも精査したんですけれども、本事業の中で指定研究事業というのが、指定研究に関する内容がございます。各学校で外部講師を招聘したり、研修会への参加を積極的に行ったりということで、25年度はこの指定研究の希望校が6校でした。26年度は、その指定研究をしたいというのが6校から7校にふえたものですから、その1校分の増加ということでこの増額になっております。

後藤（光）委員

わかりました。ありがとうございます。

それから、その下の特色ある学校づくり事業についてで、これは各界で活躍されている方々をお招きして講師として行っているものということなんですけれども、平成25年度の実施内容をお聞かせいただければなと思います。

黒澤指導課長

平成 25 年度は、5つの学校で実施しました。4つの中学校と1つの小学校でしたが、中学校では次の方々による講演会で行いました。愛宕中学校、オリンピックのメダリストの岩崎恭子氏、城南中学校、声優あるいは落語家でご活躍の増岡弘氏、長山中学校、プロゴルファーである中嶋常幸氏、城ノ内中学校、元プロサッカー選手ですが福西崇史氏の講演会を実施しました。1つの川原代小学校は、アルプスのゆかいな音楽団をお呼びして親子ともども鑑賞会をしたところでございます。

後藤（光）委員

これ1点確認なんですけれども、以前この特色ある学校づくり事業が始まる際にご確認した際に、中学校を対象とした事業だというふうなご説明があったかと思うんですけれども、これは小学校も対象というか、手を挙げればというか、企画があれば実施しているということでもよろしいでしょうか。

黒澤指導課長

本事業につきましては、今年度を含めて4年間で、全小・中学校で実施するというところで進んでおります。

後藤（光）委員

わかりました、すみません、ありがとうございました。

あと、生徒からの実際の反響といいますか、声がわかればお聞かせいただきたいと思っております。

黒澤指導課長

各学校から報告を受けているんですけれども、子どもたち、生徒の反響ということですが、やはりプロの方というか、専門の方々を目の当たりにされていますので、圧倒されたというような感想が多くありました。中でも、やはりどんな一流の選手であっても、挫折とか大きな壁を乗り越えて今があるんだということ、あるいは実力を伸ばせない人には共通点があると、それは素直でない人だと、努力をしない人だなんていうのを中学生が言われて、はっと自分を振り返り、自分の将来の夢を考えるよい機会となったなというふうには捉えております。

後藤（光）委員

ありがとうございます。

ここはちょっと反対にといいますか、もしあれば構いませんが、参考に、保護者からの何か声とかは実際にありますでしょうか。

黒澤指導課長

これはなかなか拾えなかったんですけれども、少し拾えました中での紹介になりますが、ふだんなかなか聞けない話を子どもと一緒に聞いたことで共有することができ、将来の夢について親子で話し合うきっかけとなりましたというような声も聞こえてきました。

後藤（光）委員

ありがとうございました。

それから、平成 26 年度の、これも現在わかる範囲で構わないんですけれども、予定されている、今現時点でわかる範囲での予定といいますか、お聞かせください。

黒澤指導課長

平成 26 年度も 5 校で予定されておりますが、今報告を受けているところでは、4 校はまだ未定でございます。1 校については北文間小学校になるんですけれども、先天性の四肢欠損症というのを患いながら、高校時代チアリーディングで活躍した佐野有美さんという方がいて、「ありがとう～心の底から感謝の気持ちを持つには」というようなテーマで講演を開く予定であるというふう聞いております。

後藤（光）委員

最後なんですけれども、実際に生徒からのリクエストと申しますか、そういったものがあるのかと、生徒に対してアンケートだとか、そういったものは実施されているのかお聞かせいただければと思います。

黒澤指導課長

学校独自でそれぞれ人選をしているんですが、今のところこのリクエストという話は聞いておりませんが、今後、本事業の狙いに沿ったものであれば、やはりそういう方法も可能であるというふうに考えています。

後藤（光）委員

ありがとうございました。

ぜひ、生徒のためにするものですから、今後アンケートから吸い上げていくような形で検討していただきたいなと思います。

最後です。131 ページの小学校施設整備事業について、先ほど深沢委員のほうからご質疑で、詳細なご説明がありましたので、この大宮小の塗装工事につきましては 1 点だけご確認させていただきたいのですが、先ほどのご説明の中で、これは定期的に塗装していくといったご説明があったかと思うんですけれども、どれくらいのペースで塗りかえられる、更新されるのかだけお聞かせいただけますでしょうか。

足立学務課長

法的な安全基準とかそういうものはございませんが、おおむね業者等によりますと 6 年、7 年、5 年から 7 年ぐらいの間で塗装が望ましいということでございます。これは平成 11 年、先ほど申し上げましたが、11 年に建築いたしましたので、平成 18 年、7 年後に塗装しております。今回もそのぐらいの年数が経過いたしましたので塗装して、今後も 6 年から 7 年ぐらいの間隔では塗装は必要かなと感じております。

後藤（光）委員

ありがとうございました。

最後に、この龍小のオープンスペース張りかえ工事で、これも先ほど詳細なご説明がありました。1 階、2 階、3 階のカーペットの劣化から塩化ビニールのものに取りかえるということなんですけれども、こちらのほうがもちろん耐久性もすぐれているものだと思うんですけれども、前回カーペット製のもので、平成 14 年に取りかえられたというふうなご説明があったかと思うんですけれども、今後の塩化ビニール製のものだとどれくらいの耐久性の見込みなのかと、わかればお聞かせください。

足立学務課長

塩化ビニール製の耐久性なんですけど、何年もつというわけではないんですけど、カーペットのようにめくれたり破れたり、ほこりが舞ったり不衛生な状態になることは、カーペットよりも数段状態がいい期間が保てるのではないかと感じております。

後藤（光）委員

最後なんですけれども、すみません。

この塩化ビニール製のものって多少クッション的な、マット製というか、そういったもののなんでしょうか。

足立学務課長

厚さ２ミリぐらいの多少クッション性はあるかと思います。塩化ビニールって、ビニールって聞こえが悪いんですが、見た目には木目調ですとか、すごく見た目にはビニールではできているなどとは見られないような、今はいいものがタイルとか、ビニールというような名前は使うんですが、すごく見た目はいいものでできております。

後藤（光）委員

ありがとうございました。

以上です。

山形委員長

次に、山宮留美子委員。

山宮委員

すみません、何点かお聞かせください。

137 ページ、30100 番の子どもの居場所づくり事業なんですけれども、これの備品購入費の内訳を教えてください。

黒田青少年育成課長

先ほど部長からも説明させていただきましたが、26 年度に実施しますたつこの山周辺で実施します外遊びに使用します物品等を入れるプレハブ倉庫の購入費、それと土曜日、日曜日に実施しております居場所事業に設置したいと思っておりますテレビとかDVDデッキなどを想定しております。

山宮委員

わかりました。ありがとうございます。

次に、141 ページ、32000 番の職員給与費、学校給食センター分なんですけれども、昨年より増額されておりますけれども、この増額の理由を教えてください。

大和田学校給食センター所長

ご説明申し上げます。

25 年度当初につきましては、その予算要求時、平成 24 年の 10 月、11 月頃になるんですが、その時点、要求時における所属職員、それに係る給与に基づき算定をし、さらに昇格、昇給等を格付して、新年度の当初予算、それを要求しております。ただし、そのうち定年退職者がいる場合につきましては、予算要求時においては人事異動等が確定していないと、判明していないと、そういった理由から、まず退職者分を除いて要求を行っております。これら退職者分につきましては、人事異動が確定した後、9 月補正時に予算要求にさせていただきます。

お尋ねの 25 年度当初予算につきましては、平成 24 年度の要求時でありました。職員数が 6 名おりましたうち、2 人定年退職者がおりましたので、実質 4 名分を当初予算に計上させていただいております。比して本年、26 年度当初予算につきましては、25 年度要求時の 5 名分を予算要求させていただきましておりますので、1 名分多くなっております。要因としてはその点でございます。

以上です。

山宮委員

わかりました。ありがとうございました。
以上です。

山形委員長

伊藤悦子委員。

伊藤委員

まず、81 ページです。

放課後児童健全育成事業なんですけれども、今年度から全ての学校で小学校6年生まで学童保育が行われるということなんですけれども、子ども・子育て新制度、そのもとに基づいて国のほうでも新たな基準といいますか、大雑把なものなんでしょうけれども、それとの兼ね合いの中では、広さとか集団の規模とか、その点についてどういうふうになっているのかお伺いします。

黒田青少年育成課長

現在、基準については、国のほうでも、国の子ども・子育て会議の中で検討されているところでして、まだ詳細については私どものほうには来ておりませんが、定員については1クラス40人程度というのが示されております。あと、面積的にも1.65平米とかというのは示されておりますが、その際の定員に際しましては、やはり学童保育の場合は、出席率というのが、保険のために登録はしていても実際に出席するお子さんというのはかなり低い数値も示されておりますので、実際の入級される児童の人数でカウントしてもよろしいというようなことも示されております。

実際のことを申し上げますと、やはり八原小学校などは3ルームでやっておりますので120名というのが、面積とかも換算してもなっておりますが、実際の登録は150名を超すようなお子さんが登録されております。7割、8割からしますとぎりぎりの線というような感じでおります。

以上でございます。

伊藤委員

現在のところ、実際に使う人数でということになって、40人は超えないだろうということなんですけれども、もし何かあればそのときにやはり増設なりそんなことも考えてほしいなというふうには思っています。

今回、城ノ内で1つ増設されるということなので安心はしているところです。よろしくお祈りします。

次、127 ページです。

深沢委員よりも質問はあったんですけども、私のほうは実際にこの支援員の方は……

[発言する者あり]

伊藤委員

障害者就学指導員、言っていない、ごめんなさい。障害者就学指導費なんですけれども、要するに、お子さんの数と支援員が23人ということだったんですけども、今はグループごとにお子さんを見ているという、そういったようなやり方もしているんですけども、そのことで具体的に何か問題点があったのかないのかということについてお伺いします。

黒澤指導課長

まず、1点目の本年度の支援員の数、そしてその対象児童・生徒数ということで、対象児童・生徒数は直近では36名、そして支援員が20名の配置になっております。

また、配置形態についての件ですけれども、今、学校割り当ての配置形態をとっておりますが、個別の発達に合わせた支援の仕方というのは工夫をしていますので、なかなかマンツーマンでは育ちにくかった、自らやろうというような、するような態度が育ってきている。また、サポートのあり方を保護者や担任の先生を交えて、支援員とも確認していますので、よりよい支援にもつながってきている。さらには、障害の程度に応じて必要な人数の配置ができています。

ただ、そういういい面もありますが、課題というか、今後検討していかなくてはいけないのは、小学校に初めて入学する1年生の支援にはやはり厚くしていく必要があるなというような考えは持っております。

また、支援をより有効に活用するためには、各学校の支援のコーディネーター、この方々への助言、指導もさらに進めていかなくてはいけないかなというふうに考えているところです。

伊藤委員

この制度でいい面も出ているということでは安心はしました。ぜひ引き続き、拡充の方向でお願いしたいと思います。

次です。

127 ページの同じ、学習充実支援事業なんですけれども、これは子どもの学習を充実させるということで、少人数学級とチームティーチングをやるということなんですけれども、具体的にどんなことが行われているのかなということについて伺います。私は3月1日現在なので調べてみたら、ほとんど35人学級のところが多いということでは安心はしたんですけれども、具体的にどんなことをやられているのか伺います。

黒澤指導課長

一般質問の際、部長より答弁をいただいた内容とかぶるところもあると思うんですが、非常勤講師を小学校に配置しまして、今おっしゃられたように、少人数指導、チームティーチングに取り組んでなど、一人ひとりに応じたきめ細かい指導、算数科が中心になっておりますが、そうやって取り組み、子どもたちの基礎的、基本的な知識の定着を図ると。場合によっては課題別に分けましたり、習熟度別を取り入れたりということで、やはり一人ひとりに応じたということでは重きを置いているところです。

伊藤委員

3月1日のところでは、馴馬台小学校が39人、1学級、5年生なんですけれども、久保台小学校でやっぱり1学級39人というところがあるんですけれども、こういうところについてはチームティーチングというところでやっぱり先生を1人配置しているんでしょうか、現実としては。

黒澤指導課長

本事業に関しましては、何年生につけるというのではなくて、学校に1人、あるいは1.5ということで配置するようにしているものです。それは学校の学級の実態、あるいは子どもたちの様子を見て学校で運用していただいております。

伊藤委員

わかりました。

中学校についてはどうなんでしょうか。

黒澤指導課長

中学校につきましては、小学校と大きく違いますのはやはり免許という、教員免許の種類がかなり大きく影響されます。今年度も県より、少人数指導のための加配教員というのが配置されておりますので、その加配教員、学校側でどの教科を選ぶかというふうになっておりますが、そちらを活用して少人数指導を展開しているというところでございます。

伊藤委員

わかりました。

子どもたちがやはり学力向上のためになるように、ぜひお願いしたいなというふうに思います。

次です。

129 ページの小学校管理費、これの1点なんですけれども、使用料と賃借料が昨年よりも上がっているんですけれども、その中身についてお伺いします。

足立学務課長

この増額の理由なんですけど、14 番使用料及び賃借料、この予算の構成は、パソコン、複写機、印刷機などのリース料金、あと八原小学校、城ノ内中学校の増設した校舎のリース料金、また大型バスの借り上げ料から構成されているのですが、その中で、児童が使うコンピューター室のパソコン、あと職員室の事務用パソコン、あと保健室のパソコン、合計 269 台なんですけど、これを新たにリース更新ではなく、リースをし直すといいますか、新しい機種に取りかえるということで増額しております。今まで年間リース料金が 500 万円だったものが 2,000 万円ということで、1,500 万円増額するものです。

平成 18 年度にコンピューターを入れておりましたので、5 年間のリースで入れておりました。今年度は再々々リースということもありまして、機種が古くなって遅くなって故障の頻度も増しております。そして何よりも OS が Windows XP が入っております、4 月 9 日にサポートが切れます。これは全国の自治体学校で全て問題になっていると今は思うのですが、そういうこともあって全て 269 台取りかえることから生じております。以上です。

伊藤委員

わかりました。

次です。

小学校施設整備事業、中学校施設整備事業につきましては、質問がありましたので、これは割愛いたします。

139 ページです。

職員給与費、保健体育総務ということなんですけれども、今度、総合体育館が指定管理者になるわけなんですけれども、そこから職員はいなくなるということなので、今後その指定管理者と市との関係について、今までの職員がどうなるのかということと体育館についての指導体制が具体的にどんなふうになるのかお伺いします。

岡田スポーツ振興課長

まず、スポーツ振興課職員がどこに異動するのかについてであります。今回の機構改革で、課名がスポーツ推進課になります。そして、私を含め 6 人体制で、場所は本庁 2 階の教育委員会事務所前の記者クラブが使用していた個室に入ることになっております。

次に、指定管理者、たつのこまちづくりパートナーズ、代表コナミとの連絡調整についてであります。共通仕様書の施設及び設備の維持管理の中で、指定管理者は市と連絡調整のために週に 1 回以上来庁することになっております。また、基本協定書の業務実施に係

る確認事項の中で、業務報告書を毎月 10 日までに提出をすることになっております。このときに定例打ち合わせを実施できるように考えております。また、イベント時の準備行為でアリーナの会議室に詰めて作業を進めるときにも、各施設の現場の状況確認を行っていきたくと考えております。

以上です。

伊藤委員

指定管理者がしっかり仕事できるようにということと、市のきちんとした市民のスポーツを行うというところで監督と指導をしていただきたいと思います。

それと、次の総合運動公園等管理運営費なんですけれども、工事請負費については先ほど説明がありましたので割愛しますけれども、この委託料の体育施設維持管理 1 億 8,954 万円なんですけれども、この全体として指定管理することになって管理料というんですか、今までの予算との関係ではどのぐらいの削減ができたのか、1 点だけお伺いします。

岡田スポーツ振興課長

総合運動公園等管理運営費の削減についてであります。

18 億 9,540 万円の指定管理料は、市が直接運営した場合は 2 億弱かかっておりましたので、差し引き約 1,000 万円の経費削減につながったと思っております。訂正いたします。18 億ではなく 1 億 8,000 です。すみません。

伊藤委員

わかりました。

次です。次は同じ 141 ページの学校給食運営費です。

この需用費のことについてですが、1,313 万円増になっているんですけれども、これは消費税の分なのかなというふうに思っていますけれども、このことについて、給食費も上がるということなんですけれども、給食の中のメニューですか、それに大きな変更があるのかどうか、少しはレベルアップなんかも考えられるのかどうかということと、アレルギー対策についてです。新たに 26 年度、アレルギー対策について改善されたことはあるのかどうかということについてお伺いします。

大和田給食センター所長

まず 1 点目は、給食費の値上げに伴って、よりよいものになるのかという内容でよろしゅうございますか。よりよいものにしようと思っております。今回は消費税分の値上げでありますので、当然食材購入の賄材料購入のときには今までの 5% から 8% に賦課されてしまいますので、高く買うようになると、その分いいものができるのかという話になりますとちょっと別の話になるんですけれども、質を落とさないでやりましょうということで、教育委員会内部で運営委員会等を開きまして、消費税改定に伴う値上げを今回予定させていただいておるんですが、第一の眼目としては質を落とさない、そのために消費税分を上げることということで、意見は一致して上程させていただいているところです。

もう 1 点は、アレルギーの点だったと思うんですが、アレルギーの対策につきましては、給食センターの所掌ですと食物アレルギーというところなんです、アレルギーはいろいろ種類がありまして、接触性のアレルギーもありますし、ばいじんとか、そういう花粉症もそれに当たるのかどうかわからないんですけれども、そのうち食物アレルギーの部分については、栄養教諭等を中心に各学校と連携いたしまして、各児童・生徒の状況を常に把握しております。その児童・生徒の保護者まで含めて、こういった食材を今回使いますと、その中にはアレルギー物質 27 品目のうち、この品目とこの品目が入っておりますというお知らせはできる限り伝えております。

以上でよろしゅうございますか。

伊藤委員

ぜひよろしく申し上げます。

献立の中身については努力しているということでしたので、それは感じているところではありますけれども、今回ちょっと消費税分という話があったものですからお話をさせていただきました。

それと、放射線対策ですね。今ずっとはかっていると思うんですけれども、今の現況、食材に対する現況についてお伺いします。

大和田給食センター所長

お答えいたします。

既にご承知かとも思いますけれども、給食については1食分まるまる、毎日放射能をはかっております。と次の日に使う主な野菜とか大量に使うものについては前日に行っております。結果につきましても、月おくれではございますけれども、次月の給食献立表の裏側に印刷いたしまして、児童・生徒保護者の方々に配布をしてご周知いただいております。

結果としては、今のところそういったものは出ておりませんので、安全なものを供給できているのかなというところです。

以上でございます。

伊藤委員

わかりました。

引き続き、この検査についてはお願いをしたいところです。

次に、委託料なんですけれども、施設清掃費が去年の倍になっているんですけれども、この理由。あと、給食調理業務も241万円の増、あと配送業務も144万円の増になっているんですけれども、この中身についてお伺いします。

大和田給食センター所長

委託料につきましては、まず第一、第二ともに老朽化が進んでございます。しかるに、建物の部分は安定はしておりますけれども、設備を中心にかなり老朽化の影響が出てきていると。パイプが穴が開いて蒸気漏れがあったりとか、そういう設備に近いものもありますし、定型的な修繕に近いような、機械的な修繕に近いようなものも随時施しております。劣化が進むにつれて、そういった修繕料及び保守料が上がるという傾向であるということではちょっとご説明させていただきたいと思うんですけれども、よろしゅうございますか。

以上です。

伊藤委員

調理業務と配送業務の増加については。

大和田給食センター所長

失礼いたしました。

その2点につきましては、25年の8月1日付で契約がえしております。入札等によりまして調理業務、それから配送業務、そちらの委託業者並びに委託料の改変がされております。理由といたしましては、人件費等も値上がっているのかなとは思いますが、応札の結果という形で予定価格内、かつこちらの仕様を示した業務を行うに当たっての金額で計上させていただいております。前回は5カ年の債務負担行為で契約されておりました、それが7月末までで切れましたので、8月1日から今度は3年の債務負担、配送業務につきましては、長期継続契約ということで単年度での予算計上をさせていただいているんですが、3年という形での継続的な契約とさせていただきます。

以上です。

伊藤委員

わかりました。以上です。

山形委員長

坂本隆司委員。

坂本委員

よろしくお願いします。

125 ページ、奨学生援護事業です。

まず、今年度の実績といいますか、15 人来年度は予定しているということなのですが、今年はどうな状況でしょうか。

足立学務課長

今年度は、1 年生が 4 人、2 年生が 5 人、3 年生が 5 人、この 15 人ではない理由というのは、高校生、1 年生からではなく途中からでも対象にしているということと、あと定時制 4 年生なのですが、その方も対象にしていることから、毎年毎年 15 人とは限らないということから、そういう理由でございます。

坂本委員

はい、ありがとうございます。

ということは、募集とかそういったものをあと聞こうと思ったんですけども、要は常時何か経済的に苦しくなったよといったときには相談が来て、すぐこういう申請をしてオーケーであれば出るという形でよろしいんですね。

足立学務課長

基本的にはそれを禁止はしていないんですが、今までは新年度から募集しております。中学校の学校説明会や三者面談の際に周知したり、学校には周知、あと高校に周知して、新年度からの募集という形をとっております。

坂本委員

ということは、じゃあ今後は途中からでも大丈夫なような考えがあるということでしょうか。

足立学務課長

あくまでも今審議していただいている予算の範囲内で可能な限りしていきたいと思うんですが、またどうしてもものときには、それなりのご審議をいただいて補正予算なりを考えていかなければならないと思っておりますが、基本的にはこの予算の範囲内で行いたいと思っておりますので。

坂本委員

ありがとうございました。

やはり途中から経済状況が各家庭変わる場合もあると思いますので、その辺の対応もよろしくお願ひしたいと思います。

次です。127 ページ、子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業です。

先ほども話が合ったんですが、学校側からいろいろ事業内容というのが上がってきているということで話が合ったんですが、どんなことをやるのかというのは、学校ではどんな

形で計画されているのでしょうか。要は、主体は先生が主体に考えてやっているのでしょうか。

黒澤指導課長

各学校、やっぱり子どもたちの実態等が違いますので、各学校で生きる力を育成するために、うちの学校ではこういう活動が必要だということで計画を上げてもらっております。

坂本委員

ありがとうございます。

ちょっと私が聞いたかったのは、要は計画の段階で今、学校づくりですから、学校に携わっているのって生徒、保護者も入ってくると思うんですね。そういった保護者さんからもこんなことをやったほうがいいんじゃないですかなんていう、そんな意見は吸い上げていただいているのかなということなんです、いかがでしょう。

黒澤指導課長

直接確認はしておりませんが、PTA懇談会の折の意見を参考にしたりとか、そういうのはあるというふうに考えております。

坂本委員

ありがとうございます。

ということは、先ほども講演会のほうでも保護者なんかも一緒に参加できるということの話もあったので、この事業についてもPTAと一緒に参加するような事業についてもこういう補助が使えるという形で考えてよろしいでしょうか。

黒澤指導課長

連携というのはこの事業のキーワードになっております。こちらの捉えとしましては、保護者や地域との交流活動というのはやはり教科書では得ることのできない貴重な体験活動であるというふうに捉えています。つまり、本事業の趣旨に合った活動であればこの活用も可能であるというふうに捉えています。

坂本委員

ありがとうございます。

やはりPTA以外でも地域の方の草刈りだよなんて言うと、本当に草刈り機を持って学校にぱっと来てもらえるような人たちもいらっしゃると思います。その人たちも一緒にできるような何か事業があればどんどん進めていってほしいと思います。

私からは以上です。

山形委員長

後藤敦志委員。

後藤（敦）委員

最後の質疑です。よろしく願いいたします。

141 ページ、コードナンバー31950 総合運動公園等管理運営費です。

先ほど伊藤委員からご質疑があったところですが、私のほうからは委託料の総合運動公園等管理運営ということで、26 年度から指定管理をたつのこまちづくりパートナーズをお願いをしていくということですので、今回指定管理に移行されることによって始まる新たな取り組みといたしますか、スポーツ教室等も新しいものが始まると思うんですが、そういった新しい事業について詳細を教えてください。

岡田スポーツ振興課長

新年度からたつのこアリーナの運営がたつのこまちづくりパートナーズに変わって、新たな事業とスポーツ教室の拡大等についてであります。

まず、利用者サービスであります。夏季期間の月曜日の休館をなくして開館期間の拡大と、それからトレーニング室に体組成計、いわゆる体重、体脂肪、筋肉量、骨量などを測定する機械を設置するそうであります。これは、家庭の体重計のように機械に乗ることができて測定ができるものだそうであります。これまでの運動効果や今後の目標設定に役立てることができる機械だそうです。

また、市外からの転入者にトレーニング室、屋内温水プールの1回無料券、ウェルカムチケットの配布とスポーツ教室の拡大及び施設無料開放デーの開催などを提案していただいております。

特に、スポーツ教室におきましては、コナミさん独自のレスミルズプログラムというのがありまして、ボディパンプ、バーベルを使用したエクササイズを音楽に合わせて実施するもの、筋力アップ、基礎代謝向上に効果があるそうであります。それからもう1つ、ボディコンバットというのがあるんで、格闘技の動きを取り入れたエクササイズを音楽に合わせて実施するものだそうです。脂肪燃焼やストレス解消に効果が十分にあるということでもあります。以上であります。

後藤（敦）委員

ご答弁ありがとうございます。

今までやっていた事業に加えて、そういったコナミさんのノウハウを使って新しいプログラムが実施されていくということですので、利用者の方にとっては本当にいろいろとメニューがふえて、利用者増に確実に繋がっていくんだらうなとは思いますが。

そういった中で、伊藤委員のご質疑の中で、管理料の縮減というようなお話がございましたが、先ほどの課長のご答弁の中では2億弱かかっていたということなんですけれども、それは25年度当初予算でいうと、たつのこアリーナ管理運営費、フィールド管理運営費、たつのこスタジアム管理運営費を足したのが2億弱というようなご説明ですよね。その説明でございますと、例えばアリーナの工事請負費1,700万とかも含まれた形になってしまいますので、それと委託の1億8,900万を比べてしまうとちょっと単純な比較にはならないのかなと、そういったような比較をするのであれば、平成25年度当初予算のアリーナ、フィールド、スタジアムと体育施設管理運営、これを加えた2億800万と今回計上されている2億2,400万というところの比較になってくるのかなと思います。

そういう比較をしますと、今年度のほうが1,700万ぐらい多くはなってしまうわけなんですけれども、これは今年度は、平成26年度は工事請負費のほうで600万ぐらい25年度当初より多いですし、ちょっと今回の予算の計上では見えにくくなっているんですけども、アリーナの光熱水費と需用費がちょっと委託料の中に、1億8,900万のほうにたぶん含まれているんですよ。ちょっとそういったところで光熱水費の増額なんかもあるのかなと、そういうところでちょっと単純な比較はできないので、コストの縮減の検証については決算のほうでしていけばいいのかなとは思っていますが、単純に指定管理の目的、ただ単にコスト削減ということだけではないと思います。

今、課長にご説明いただいたような新たな取り組みなんかも含めて、当市の指定管理、今後の方向については総合運動公園等の管理というものが重要なベンチマークと申しますか、指標になってくるのかなと思いますので、この運営についてはしっかりと注視をさせていただきたいと思っております。

あと1点、確認をさせていただきたいんですけども、工事請負費のところ、スタジアム判定表示等改修工事ということで、伊藤委員のご質疑、ご答弁があったところなんですけれども、このBSO方式に変更するというところでございました。要するに、ボールを

先にカウントするのか、ストライクを先にカウントするのかというところで、アメリカと日本で違うということなんでしょうけれども、私野球は詳しくないのでわからないんですけども、日本も大リーグ方式にルールとして改めていく、ですから改めないで公式戦等で使えないということで今回改修をされるということなんでしょう。その点だけ確認させてください。

岡田スポーツ振興課長

これにつきましては、まず、たつのこスタジアムがオープンした日が 2010 年、22 年の 5 月であります。プロ野球の本拠地の野球場が翌年の 2011 年シーズンに、本拠地全土で B S O 表示になっております。ちなみに、県内球場につきましても、平成 25 年度に水戸市民球場、それから土浦市営球場、それから平成 24 年度に取手藤代球場が改修されたと聞いております。ですから、各地方にどんどんこれから B S O 表示に採用になって掲載されていくのかなというふうに思っております。

以上です。

後藤（敦）委員

ありがとうございました。

課長おっしゃるように、22 年度 5 月からの供用ということで、本当に 4 年目くらいですので、どうして改修が必要になったのかなということでお聞きしたんですけども、そういったように、プロ野球でもそうなっていて、近隣でもそうなっているということでは、いずれかはやっていかなければいけないということでしょうから、この点については理解いたしました。

学校給食運営費については割愛いたします。以上で終わります。

山形委員長

以上で議案第 38 号の文教委員会所管事項について、説明と質疑を終了いたします。

これをもちまして、予算審査特別委員会に付託されました議案第 38 号から議案第 45 号までの 8 案件についての説明と質疑を終結いたしました。

職員に資料を配付させます。

〔資料配付〕

山形委員長

お手元に配付されましたでしょうか。

それでは、お諮りいたします。

議案第 38 号から議案第 45 号までの 8 案件につきましては、より詳細に審査するため、分科会を設置し、お手元に配付の付託表のとおり付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

山形委員長

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 38 号から議案第 45 号までの 8 案件につきましては、分科会を設置し、付託表のとおり付託いたします。

次の予算審査特別委員会は、3 月 18 日午後 1 時 30 分より全員協議会室において再開いたします。

本日はこれをもって散会いたします。ご苦労さまでございました。